

揖斐川町の林業

揖斐川町内の林業は、昭和30年代まで行われていた「炭焼き」などの事業が続いている箇所や、「紙すき」や「しいたけ栽培」など、森林から得られる産物を利用し、地域の伝統を受け継いでいます。

地元で伝統的林業を営んでいる方達を紹介しますので、これらの製品や産物を町民の皆さんにも利用していただきたいと思います。また、現地を一度ご覧になってはいかがでしょうか。

紙すき

坂内の諸家地区で、山口 郁さんが15年程前から地域で行われていた紙すきを始められました。

この地域では各家庭で紙すきが行われていたのですが、伊勢湾台風を境に廃れてしまいました。そこで、過去の経験を生かし他の地域の紙すきを見学して、紙すきを再開することにしました。道具は自宅にあったものや資料館にあったものを利用して、地元で自生している「こうぞ」を原料に制作し、薬品はほとんど使用していません。

山口さんは、社団法人国土緑化推進機構の「森の名手・名人」にも選定されており、制作された和紙は、坂内の「道の駅」でも販売されています。



しいたけ栽培

現在では、原木での「しいたけ栽培」は、菌を打つ原木が購入できないなどの理由で栽培者が少なくなり、菌床栽培の「しいたけ栽培」が多くなってきました。

町内でも「しいたけ栽培」を行っている林家が多数ありますので、地元で栽培され新鮮で味のよい「しいたけ」を多くの方に味わっていただきたいと思っています。



原木で栽培



菌床栽培

炭焼き

昭和30年代まで山間地で行われていた「炭焼き」が今でも続いています。

現在では、春日地内に4箇所、久瀬地内に5箇所、坂内地内に5箇所の「炭かま」があり、現在でも炭を焼いています。炭で焼いた魚などは格別においしく、バーベキューでも火持ちがいい地元産の炭を使用していただきたいと思います。



炭かまへ原木を入れる



炭かまから、炭を出す



かまから出した炭を適当な大きさに切り分ける

揖斐川森林だより

これからの森林づくりのために

【第26回】「揖斐川町の林業」(揖斐川町森林づくり推進会議事務局)

【お問い合わせ先】 森林林業について、また、補助制度の採択要件や間伐のご相談など、お気軽にお問い合わせください。
揖斐川町農林振興課 (TEL 22-2111) ・ 揖斐郡森林組合 (TEL 22-6511) ・ 揖斐農林事務所林業課 (TEL 23-1111)